

一般社団法人 岩の力学連合会
平成 27 年度・第 2 回常任理事会 議事録

日時	平成 27 年 9 月 4 日 13:55～17:25	場所	(公社)地盤工学会会議室
----	-----------------------------	----	--------------

常任 理事会	理事長	京谷 孝史	○	副理事長 (賞選考)	青木 智幸	○	幹事長 (総務)	長田 昌彦	○
	常任理事 (国際技術) (地盤)	鈴木健一郎	○	常任理事 (資源・素材)	村田 澄彦	×	常任理事 (土木)	新 孝一	×
	常任理事 (材料)	岸田 潔	○	常任理事 (前幹事長)	坂口 清敏	○			
	常務理事 (RockNet)	安原 英明	×	常務理事 (編集)	清木 隆文	○	常務理事 (電子 J)	島田 英樹	×
	オブザーバ (元・理事長)	清水 則一	○				事務局	富田明日香	○

敬称略順不同, ○:出席, ×:欠席, ●:スカイプ出席

配 付 資 料

資料番号	資 料
資料 27-常任 2-1	第 1 回常任理事会議事録
資料 27-常任 2-2	社員総会議事録
資料 27-常任 2-3	第 1 回臨時理事会議事録
資料 27-常任 2-4	会員の入退会
資料 27-常任 2-5	理事会, 常任理事会および三役会議運営規則
資料 27-常任 2-6	連合会役員名簿(H27-H28)
資料 27-常任 2-7	将来構想委員会に向けて (メモ)
資料 27-常任 2-8	編集委員会報告
資料 27-常任 2-9	国際技術委員会報告
資料 27-常任 2-10	電子ジャーナル委員会 平成 27 年度活動計画(案)
資料 27-常任 2-11	Rock Net 委員会報告
資料 27-常任 2-12	賞選考委員会報告
資料 27-常任 2-13	岩の力学連合会の規則の変更箇所
資料 27-常任 2-14	諸規則リスト
資料 27-常任 2-15	役員等の報酬の規則(案)(20150629)
資料 27-常任 2-16	情報公開に関する規則(案)(20150629)
資料 27-常任 2-17	一般社団法人岩の力学連合会個人情報の保護に関する規則(20150818)
資料 27-常任 2-18	岩の力学国内シンポジウム実行委員会 幹事会リスト
資料 27-常任 2-19	Minutes of the 2015 ISRM Council meeting
資料 27-常任 2-20	GEOSAFE2016 論文概要募集のご案内
資料 27-常任 2-21	EUROCK2016 論文概要募集のご案内
資料 27-常任 2-22	EUROCK2017 1st アナウンスメント
資料 27-常任 2-23	24th World Mining Congress (Rio de Janeiro) 開催案内
資料 27-常任 2-24	JSRM 登記簿

理事長挨拶

【議 題】

1. 第 1 回常任理事会(6/4)議事録の承認
資料 27-常任 2-1 に基づき議事録の確認を行い承認した。
2. 社員総会(6/26)議事録の確認
資料 27-常任 2-2 に基づき議事録の確認を行った。
3. 臨時理事会(6/26)議事録の確認

資料 27-常任 2-3 に基づき議事録の確認を行った。これに関連し、資料 27-常任 2-24 の通り登記が完了した旨が報告された。

4. 会員の入退会

資料 27-常任 2-4 を用いて現状の入退会状況の説明がなされ、原案通り承認された。なお、入退会報告の項目「除名」は定款第 12 条及び第 14 条を参照し「資格喪失」に変更することとした。

5. 平成 27 年度活動方針

1) 理事会、常任理事会および三役会議運営規則の確認

資料 27-常任 2-5 により、標記運営規則の内容を確認した。

2) 各理事の役割分担の確認

臨時理事会(6/26)において資料 27-常任 2-6 の通り各理事の役割分担を決めたが、総務・会計担当を追加すべきとの意見があり、下茂理事及び横尾理事に役割分担の追加依頼することとした。この依頼は幹事長が担当する。

3) 将来構想委員会について

資料 27-常任 2-7 に基づき、清水元理事長よりこれまでの経緯並びに検討課題について説明を頂いた。なお、資料 27-常任 2-7 の別紙において、すべての「2004 年の構想では」は「2003 年の構想では」に修正する。

議論の結果、次に示すメンバーにより、将来構想委員会を立ち上げ、理事会並びに常任理事会の日程に合わせて委員会を開催することとした。構成学会代表者各委員長と常任理事が重複する場合には、別の方を推薦頂いてもよいこととし、各学会統括理事が委員の推薦を行うこととした。各委員からの内諾が得られた段階で、事務局より委嘱状を発送することとした。第 1 回委員会は次回理事会開催日(10/22)とし、次年度総会での公表を目指すこととした。

【将来構想委員会】計 18 名

- ・委員長 清水則一・元理事長 1
- ・副委員長 尾原祐三・前理事長 1
- ・構成学会代表者各委員長(土木、資源・素材、地盤、材料) 4
- ・理事長、副理事長、幹事長 3
- ・常任理事(各学会総括、総務、国際技術、電子ジャーナル、Rocknet、編集) 8
- ・将来構想担当理事 1
幹事(坂口・総務担当理事、岡田・将来構想担当理事)

6. 委員会審議・報告事項

1) 編集委員会

資料 27-常任 2-8 を用いて、近況の報告があった。以前発行していた CD に代わる文献リストなどの情報提供方法及び岩の力学ニュースの web 上公開などの議論があり、会員サービスに資する検討をしていただくこととした。

2) 国際技術委員会

資料 27-常任 2-9 を用いて、2015 年度の活動計画が報告された。基金の効果的活用を視野に入れた今後の中長期の活動について、特に若手技術者の国際学会やショートコース参加支援については、例えば 20 万円程度の予算で何ができるか、公募のルールや審査方法について検討いただくこととした。また海外からの研究者招聘については、Monash Univ. の教授招聘を進めることとし、土木学会主催の岩盤力学に関するシンポジウムでの講演枠の確保を打診することとした。

3) 電子ジャーナル委員会

資料 27-常任 2-10 を用いて、論文の編集状況と活動計画が報告された。

4) Rock Net 委員会

資料 27-常任 2-11 を用いて、今年度の委員構成と活動計画が報告された。なお昨年度の議事録の「7. ISRM との連携」に記載のある「会員情報の追加・変更」については、Council Meeting などの際に、理事長から ISRM 本部に会員更新方法の柔軟化について依頼することとした。

5) 連合会賞選考委員会

今年度の委員の選出が完了したことが報告され、これを承認した。また資料 27-常任 2-12 を用いて、今後の実施計画が説明された。審議の結果、委員会開催を 2 回とすることで承認された。これに伴い、交通費に関する予算を追加計上する。賞の応募促進案に関しては、若手研究者の Rocha メダルへの推薦促進のため「博士論文賞(仮)」を設けることになった。また、技術賞・フロンティア賞に関しては、筆頭応募者が賛助会員の場合、共同応募の法人等の賛助会員の限定は設けない方針で応募要領および関係規則類見直しを検討することになった。次回の理事会に答申するよう準備する。

- 6) 総務委員会
「7.規則の審議」を参照のこと。

7. 規則の審議

- 1) 連合会規則の変更
資料 27-常任 2-13 の通り，名称が JCRM から JSRM に変更となったことに伴う規則等の改正に関しては，事務的に進めることとした。
- 2) 役員等の報酬の規則(案)
規則等の整備状況は資料 27-常任 2-14 に示す通りである。資料 27-常任 2-15 に基づき，概要の説明があった。今回は内容に関する議論は行わず，次回以降ご意見を頂き，今年度中の制定を目指すこととした。
- 3) 情報公開に関する規則(案)
資料 27-常任 2-16 に基づき，概要の説明があった。対応は 7.2)に同じ。
- 4) 個人情報の保護に関する規則(案)
資料 27-常任 2-17 に基づき，概要の説明があった。対応は 7.2)に同じ。

8. 岩の力学国内シンポジウム

- 1) 実行委員会メンバーについて
資料 27-常任 2-18 の通り，実行委員会メンバーの報告があった。全体のバランスを考慮して，地盤工学会推薦の長田委員と日本材料学会推薦の岸田委員を連合会枠とし，さらに 2 名の追加を検討していただくこととした。その調整は岸田理事にお願いすることとした。
- 2) その他
2015 年 10 月までに予算案を作成する。2017 年 1 月の開催期日については未定。

9. 日韓ジョイントシンポジウムの開催について

日程：2016 年 5 月 19 日（木）～20 日（金）確定

場所：Korea Institute of Geoscience and Mineral Resources (KIGAM) 仮

下記委員会への推薦依頼があり，次の通り内諾を取り，韓国側へ報告することとした。（敬称略）

1. Honorary committee (3-5 persons): Name/ Affiliation

大西有三（関西大学），清水則一（山口大学），尾原祐三（熊本大学）

2. Organizing committee (3-5 persons): Name/ Affiliation

京谷孝史（東北大学），青木智幸（大成建設），長田昌彦（埼玉大学）

3. Paper Reviewer and Session Chairman (5-6 persons): Name/ Affiliation

時期を見て改めて推薦する。

今後，日韓ジョイントシンポジウムを連合会が主体となって運営するにあたって，その受け皿や方法については継続審議とする。

10. ISRM 関連

- 1) Minutes of the 2015 ISRM Council meeting
資料 27-常任 2-19 に基づき，青木副理事長から概要を説明いただいた。
- 2) New Board Members of Japanese Society for Rock Mechanics
事務局からアップデートしたことが報告された。
- 3) ISRM への上納金の支払いについて
事務局より支払いを済ませた旨，報告があった。
- 4) VP 活動支援
- 5) GEOSAFE2016 論文概要募集のご案内（中国）
資料 27-常任 2-20 の通り RockNet に掲載した。
- 6) EUROCK2016 論文概要募集のご案内（トルコ）
資料 27-常任 2-21 の通り RockNet に掲載した。
- 7) EUROCK2017 1st アナウンスメント（チェコ）
資料 27-常任 2-22 の通りアナウンスがあった。
- 8) 24th World Mining Congress (Rio de Janeiro) 開催案内
資料 27-常任 2-23 の通り RockNet に掲載した。

11. その他

- 1) 土木学会より後援依頼のあった第 21 回地下空間シンポジウムへの後援を承認した。
- 2) 株式会社レアックスからの問い合わせについては，事務局から回答した旨報告があった。

12. 今後の予定

- 1) 第2回理事会（平成27年10月22日）
- 2) 第3回常任理事会（平成28年1月28日）
- 3) 第3回理事会（平成28年3月 日）3/16,17,18 で調整することとした。
- 4) 平成28年度第1回常任理事会（平成28年5月 日）未定

以上 00